

第29回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：臨床検査室の国際標準規格であるISO 15189と
遺伝子検査に求められる事項

2021年

6月16日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介：田部 陽子先生

(順天堂大学大学院医学研究科臨床病態検査医学 教授)

座長：岡崎康司(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会：新井正美(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要：「ISO 15189(臨床検査室の品質と能力に関する特定要求事項)」は、臨床検査室の技術能力を評価する国際的な規格です。

臨床検査室には「精確な(accurate)結果」を提供する能力の他、その品質を臨床検査サービスのクライアントである患者や医師との合意事項を監視していることが要求されます。このことは、ISO 15189の規格要求事項の中で「臨床検査室の技術能力」と「品質マネジメントシステム」に関係しており、最も重要な部分です。

ISO 15189認定の取得によって、① 臨床検査サービスの品質の保証、② 組織(病院と臨床検査室)間の目標の共有、③ 臨床検査部門の体制整備と責任の明確化、④ 臨床検査に関わる医療安全(インシデント、アクシデント低減)の推進、が期待されます。そして、これらはPDCAサイクルによる継続的な改善活動によって維持、向上が図られます。

今回は、2019年から認定範囲分類に遺伝子関連検査が加わった最新の内容と遺伝子検査の在り方、今後の展望等について順天堂医院 臨床検査部の経験をまじえて紹介します。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/yg9ZbWrkCYw1QFwk9>

LIVE配信 (Zoom) にて開催

6月15日 (火) 17時締切

※当日は、順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますのでお時間がありましたら会場でのご参加もお持ちしております。



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

新井/原田 (内線71407/5167)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

